

広報 **ふじ**

57.4.5

No.339

鍛える

③

体操は美と技を競う競技。激しい動きの中にも美しさが求められ、これらは、日ごろの厳しい練習から生まれます。（吉原商業高校体操部）



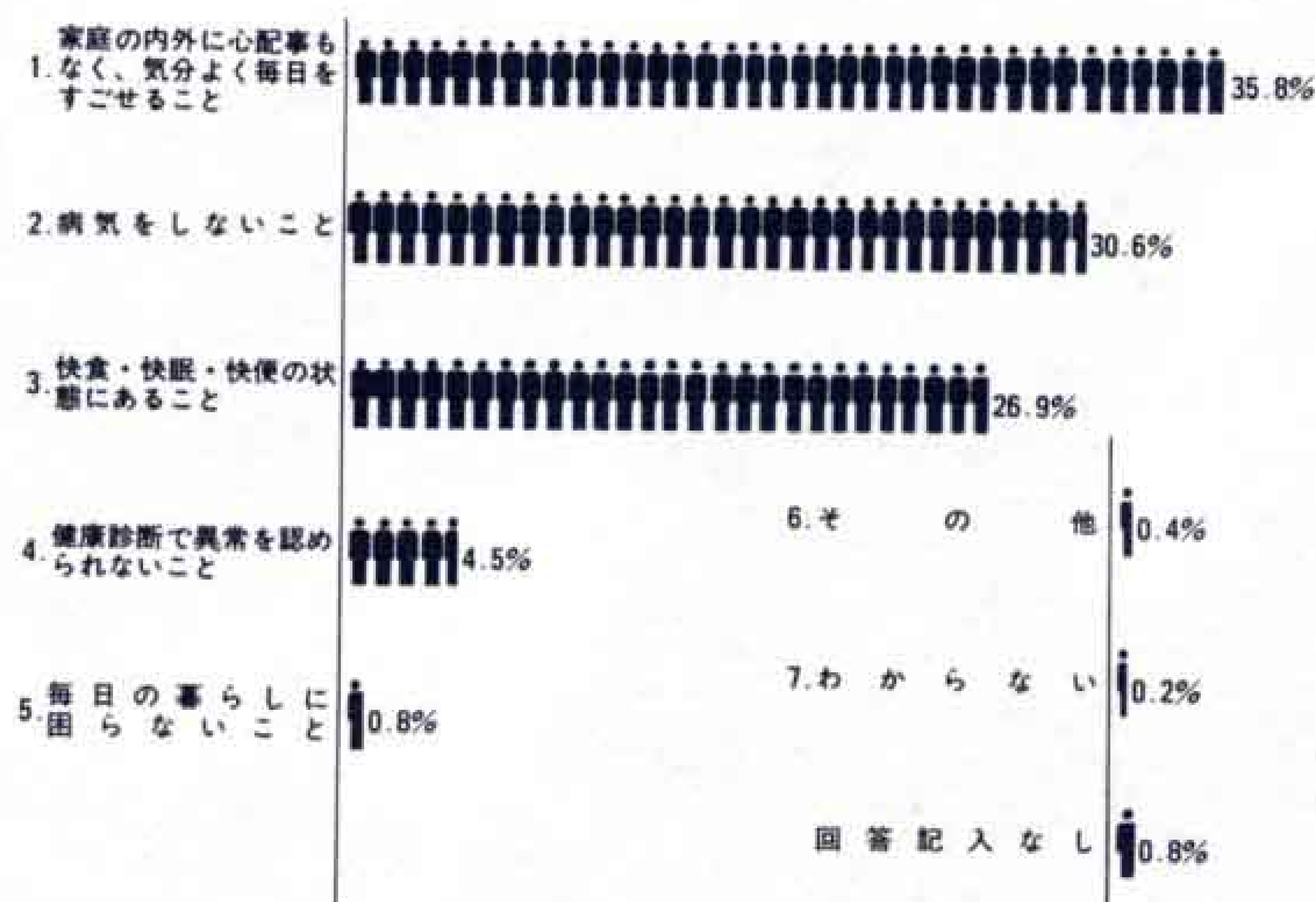
市民は望んでいます 地域に根ざした保健活動を

第10回世論調査

家族の健康に関して主婦の果たす役割は大きなものがあります。そこで第10回世論調査は市内の主婦を対象に「健康」についての考えや行政への要望をつかむことを目的に行いました。

このほど調査の結果がまとまりましたので、そのうちから主なものをピックアップしてみますと。

「健康」ということばを
どのように理解していますか



全体の38.5%が「家庭の内外に心配事もなく気分よく毎日をすごせること」と答えており、「健康」を身体だけでなく精神的なことも含めてとらえている人が多いことがわかりました。しかし20代は27.5%と少く「病気をしないこと」が38.5%と最も多いのが特徴です。

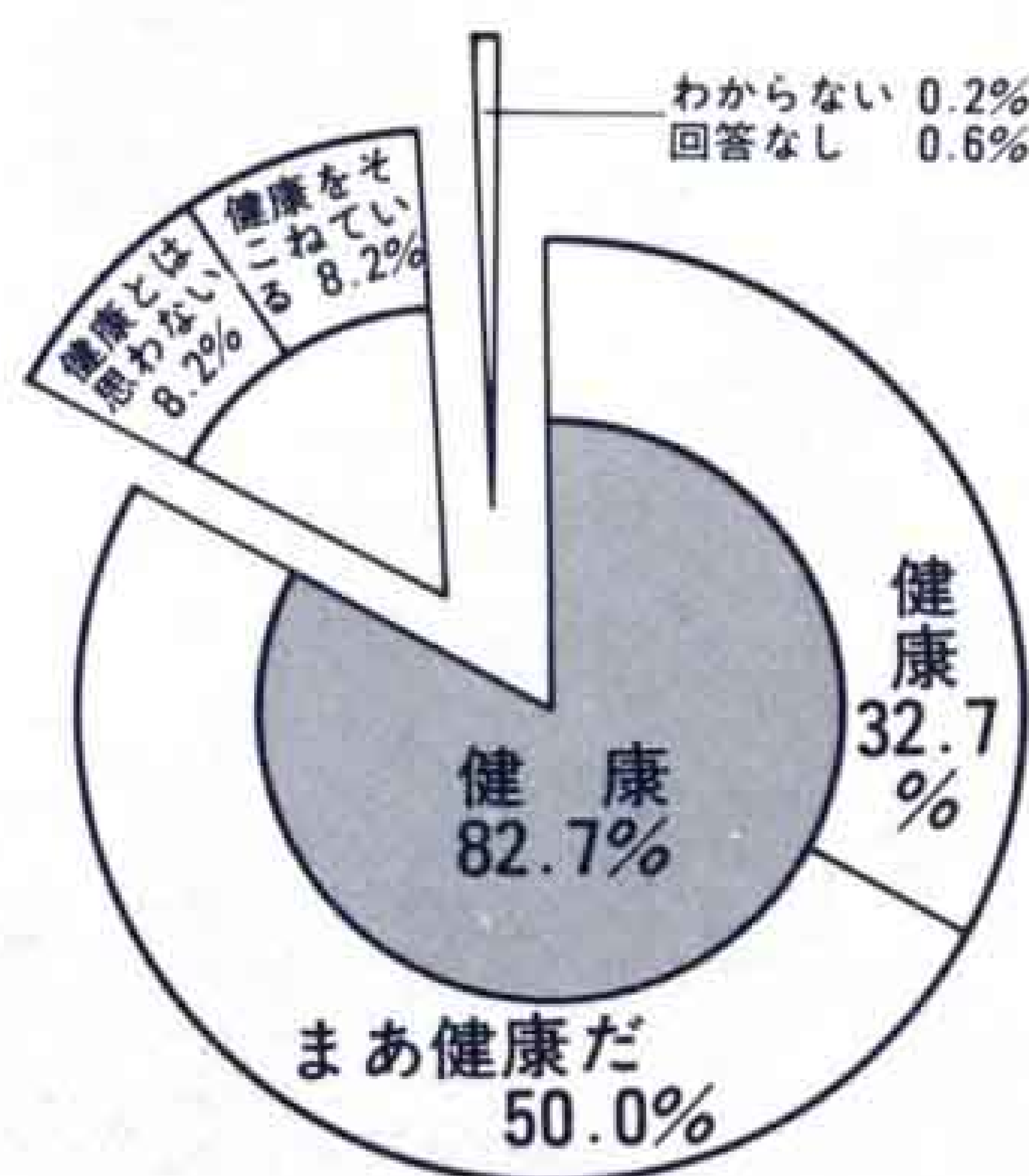
主婦を対象「健康」について

調査方法と回収結果

市内に住み、結婚している女性のおよそ3割に当たる1,500人を住民基本台帳からコンピューターで無作為に選び、郵送による無記名の回答をお願いしました。調査期間は1月20日から2月1日まで。

回収は1,188人(79.2%)で、郵送方式による調査としてはこれまでに最も高い回収率でした。

自分の健康をどう思いますか



自分で健康だと思っている人は82.7%と意外に多くいましたが、これは健康でありたいという願望も含まれての結果ではなかろうかと思われます。

市の保健婦さん紹介

私たちは市民の健康のお役に立つ



竹島たみ江 (58歳)

主査 (総括)



市川いづみ (30歳)

(担当地区)
富士駅南



金指弘子 (23歳)

(担当地区) 須津
浮島・富士見台



酒谷初江 (31歳)

(担当地区)
岩松



関原清美 (23歳)

(担当地区)
吉永・原田



中村弥生 (27歳)

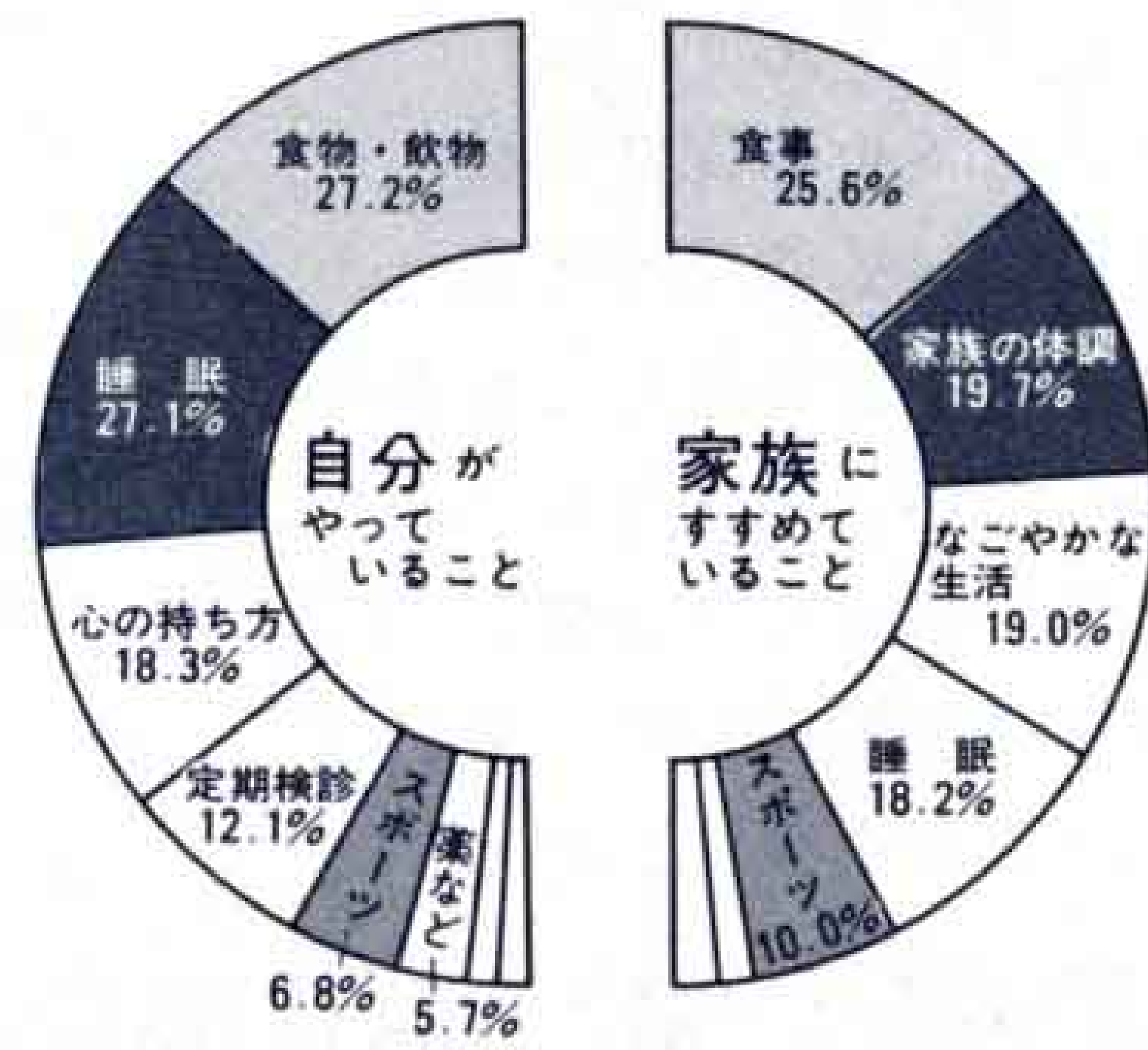
(担当地区)
鷹岡

健康のためにどんなことをやっていますか

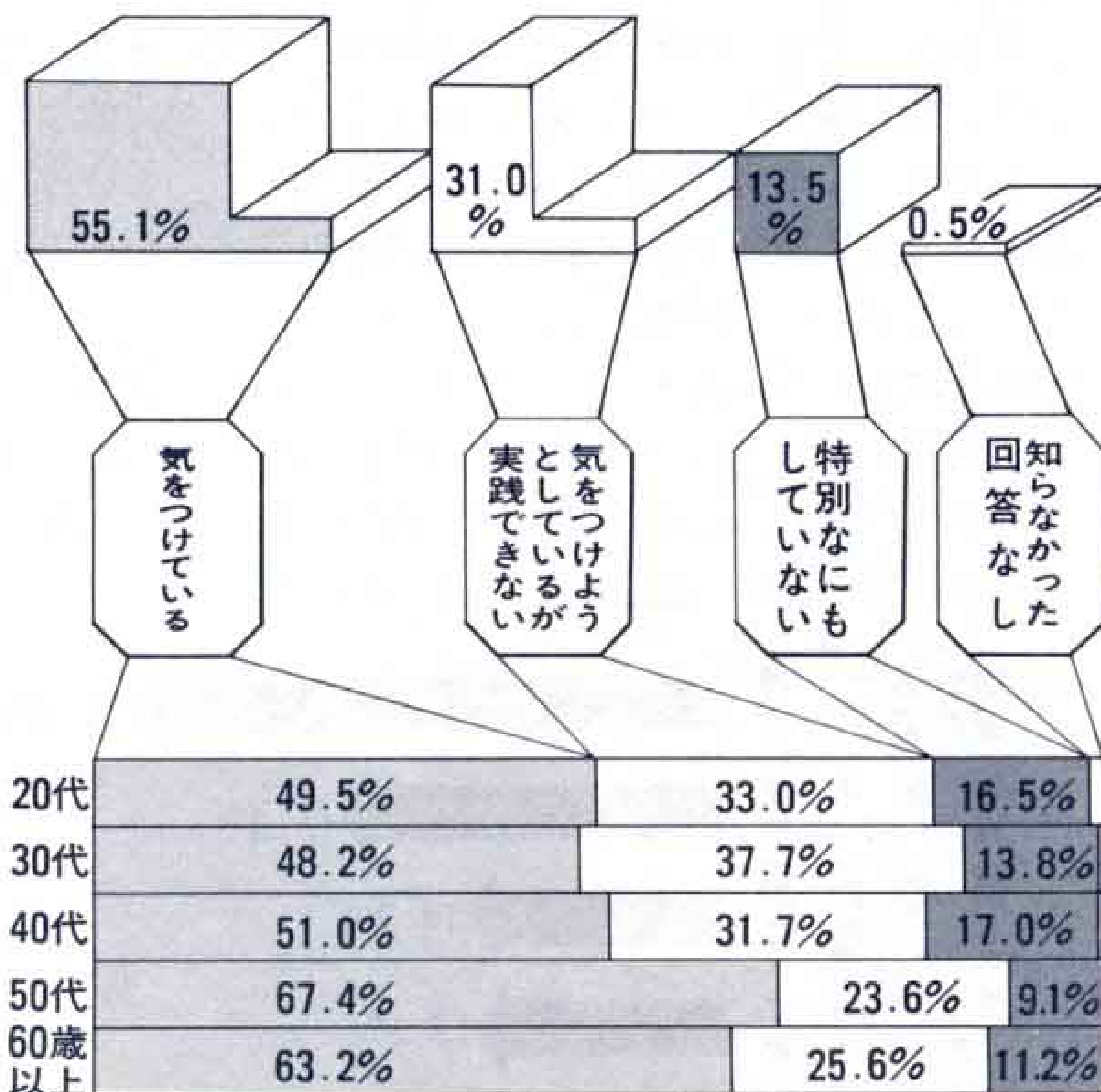
健康にとって大切な三本柱は「栄養・休養・運動」といわれています。こうした点でとらえると運動が少ないのが目立ちます。健康のために自ら体を動かすという能動的なことが弱いことが指摘されます。

したがって、市民の健康づくりのために、今後の保健活動はこうした面にもポイントをおいてとりくむことが必要です。

全体的に少ないながらも「スポーツや運動などに心がけている」と答えた人は30代が最も多く、地域では富士南が目立ちました。少ないのは年代では50代、地域では旧吉原地区でした。



塩分をとりすぎていませんか



成人病は塩分のとりすぎに関係するといわれております。調査結果は55.1%の人が「気をつけている」と答えていますが、主観的な自己評価であり、実際の内容となると違いがあるのではないかと思います。

年代別の特徴としては、高齢者ほど成人病に対し注意していることがあげられます。

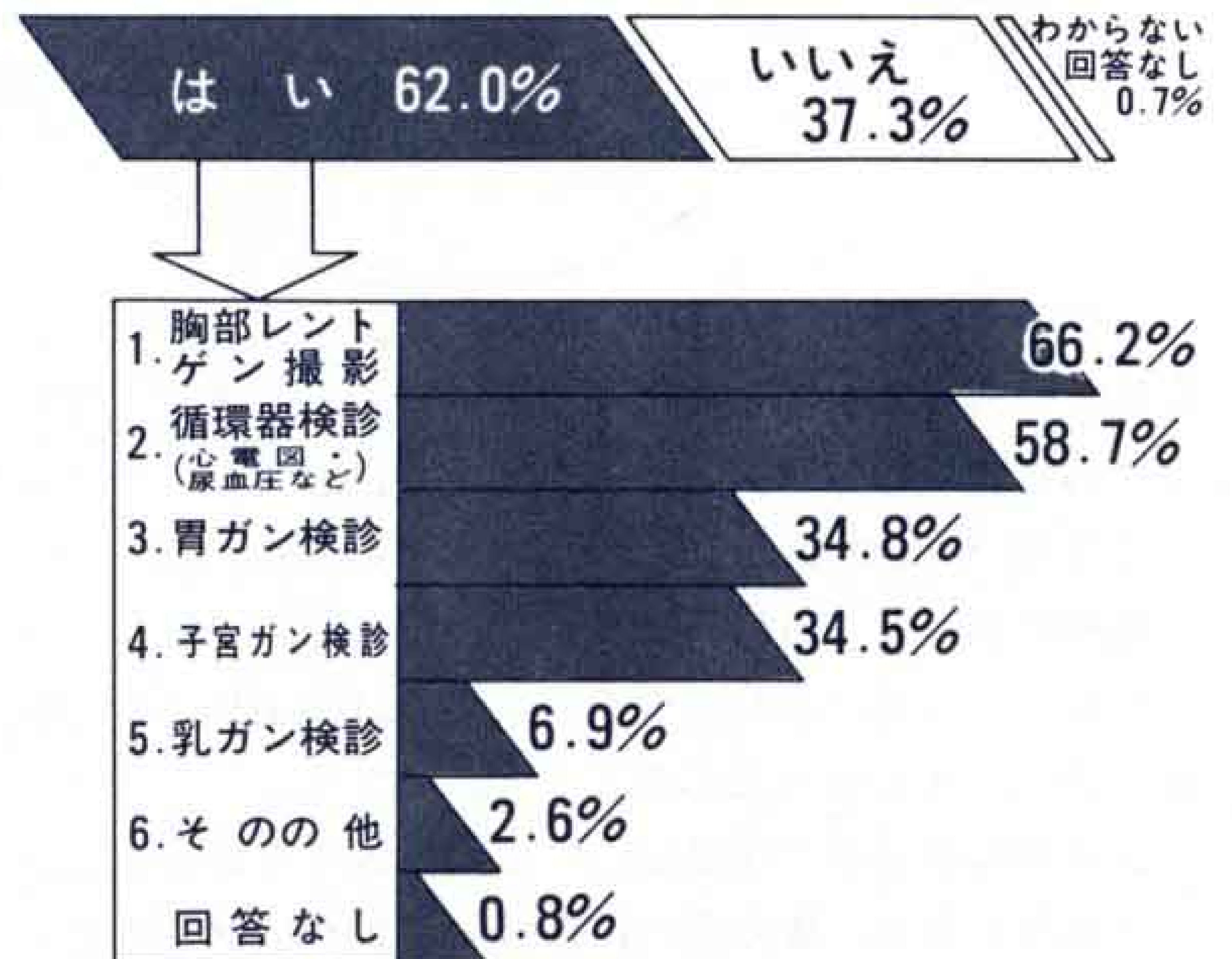
成人病検診を今年に受けましたか

この1年間に成人病検診を受けたことがあると答えた人は全体で62.0%と意外に多くありました。

これは働きに出ている主婦が多く、事業所で実施した検診も含めての回答であろうと思われます。

年代別では20代が29.4%、60歳以上が75.2%と高齢になるほど多くなっています。

また検診を受けなかった理由で最も多かったのは「受けようと思ったが機会がなかった」42.9%でした。



※各項目毎の受診者の割合を示す

ことを願って活動しています

市の保健婦さん紹介



花崎節子 (41歳)
(担当地区)
田子浦・富士南



堀内光代 (28歳)
(担当地区)
元吉原・広見



増田品子 (26歳)
(担当地区)
吉原・大淵



松下良子 (53歳)
(担当地区)
伝法・丘



村松祥子 (50歳)
(担当地区)
富士駅北



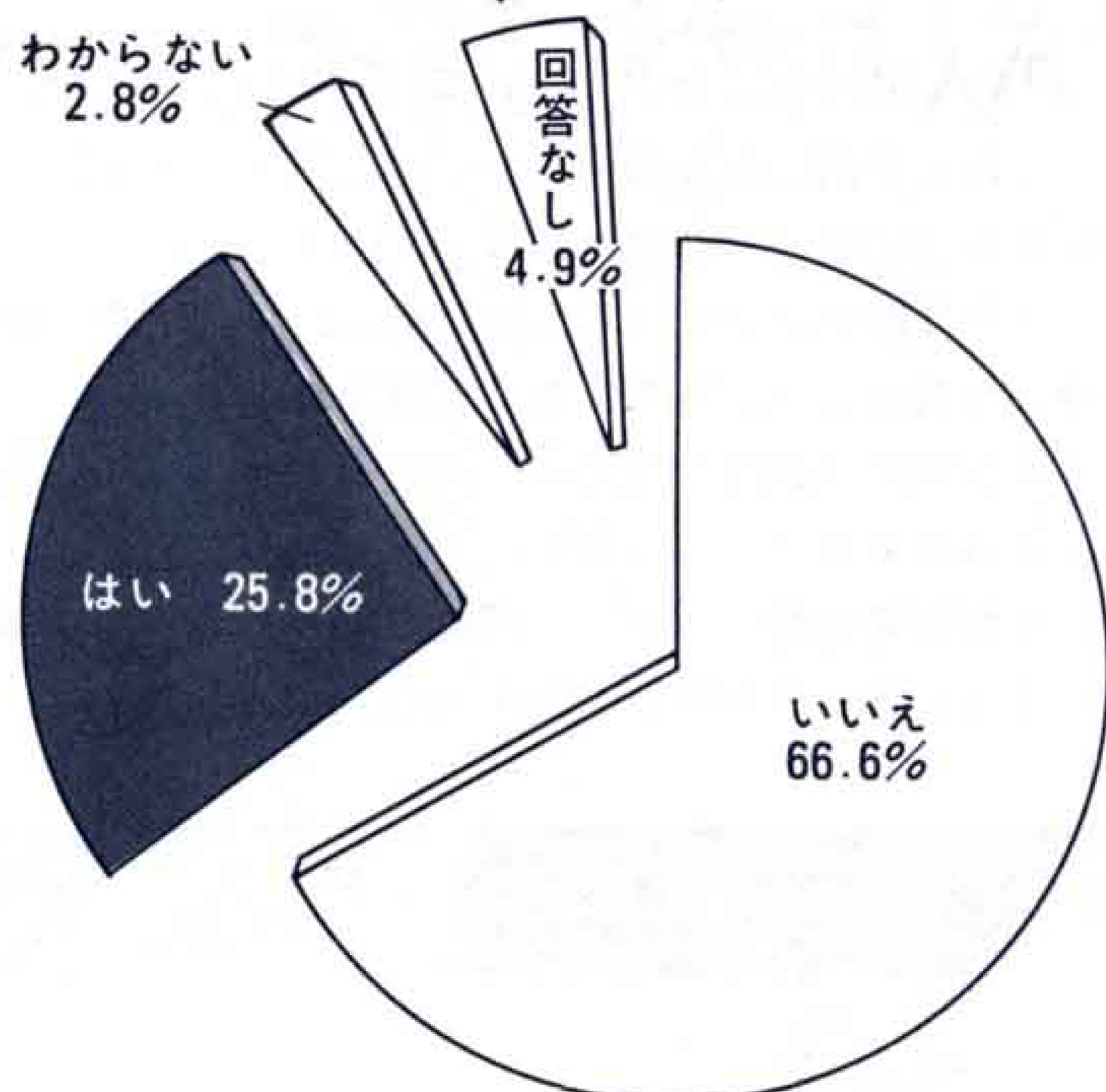
湯沢まさみ (36歳)
(担当地区)
今泉

健康を守るための事業で 利用したものは

健康課が実施している保健活動のうち、利用が多いのは3歳児や1歳半の乳児健康診査の母子を対象としたものが多く、「わからない」「回答なし」の人は高齢者ほど多くなっています。

これは今までの保健活動の対象が母子中心であったことを表わしています。

市の保健婦と何らかのかかわりをもったことがありますか



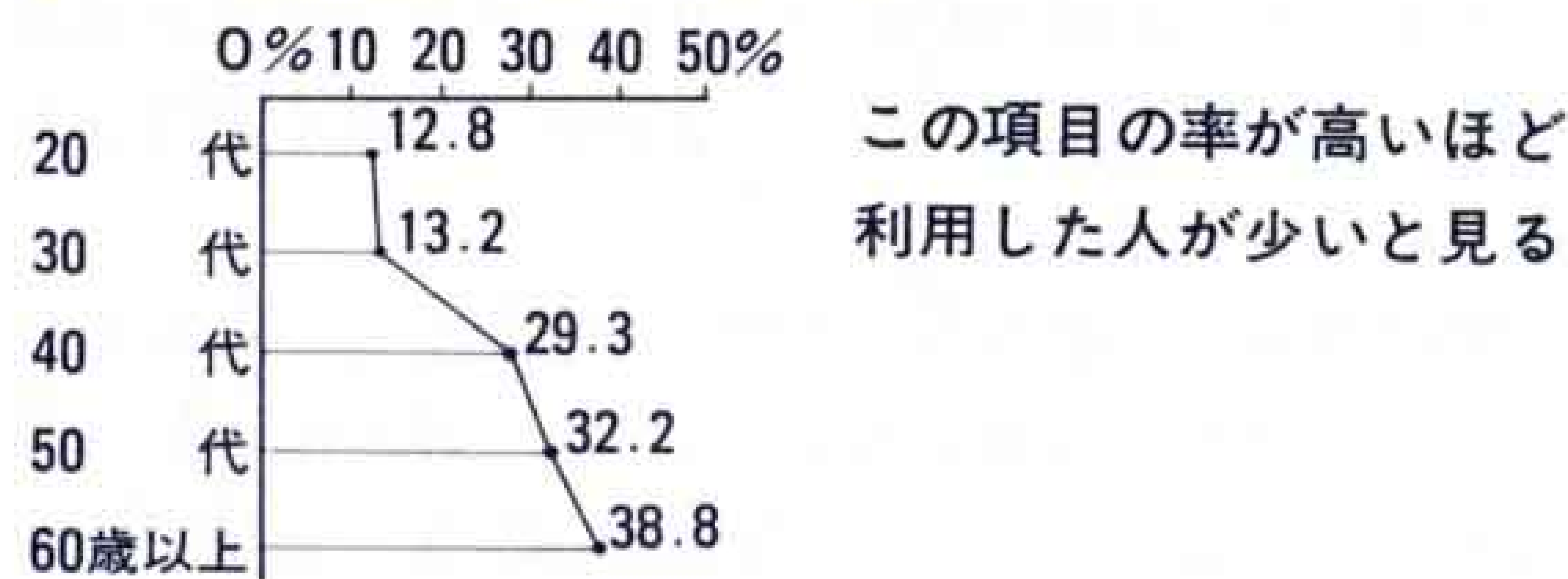
4人に1人の割合で保健婦と何らかのかかわりをもったと答えていますが、年代による違いがみられます。20代では約半数の49.5%と多く、30代では35.8%とやや少なくなり、40代からは10%台と減少しているのが特徴です。

地域で多いところは富士見台40.4%、丘39.5%、須津浮島32.7%などであり、少ないところは伝法15.7%、駅北17.8%、元吉原19.3%などです。

意見欄には「市に保健婦がいるのを知らなかった。」という記入もあり、まだまだ保健婦の活動が理解されていないことが明らかとなりました。

3歳児健・診	1歳6ヵ月健・診	子宮ガン検診	胃検診	康乳相児談健	講離習乳会食	検循環診器	んお教母室さ	わからない回答なし	その他
15.2%	12.9%	11.1%	10.9%	9.7%	7.5%	7.3%	6.2%	10.2%	1.2%
保健婦の家庭訪問 2.6%								健康大学 0.9%	健康展 1.7%
母と子の相談室 2.5%									

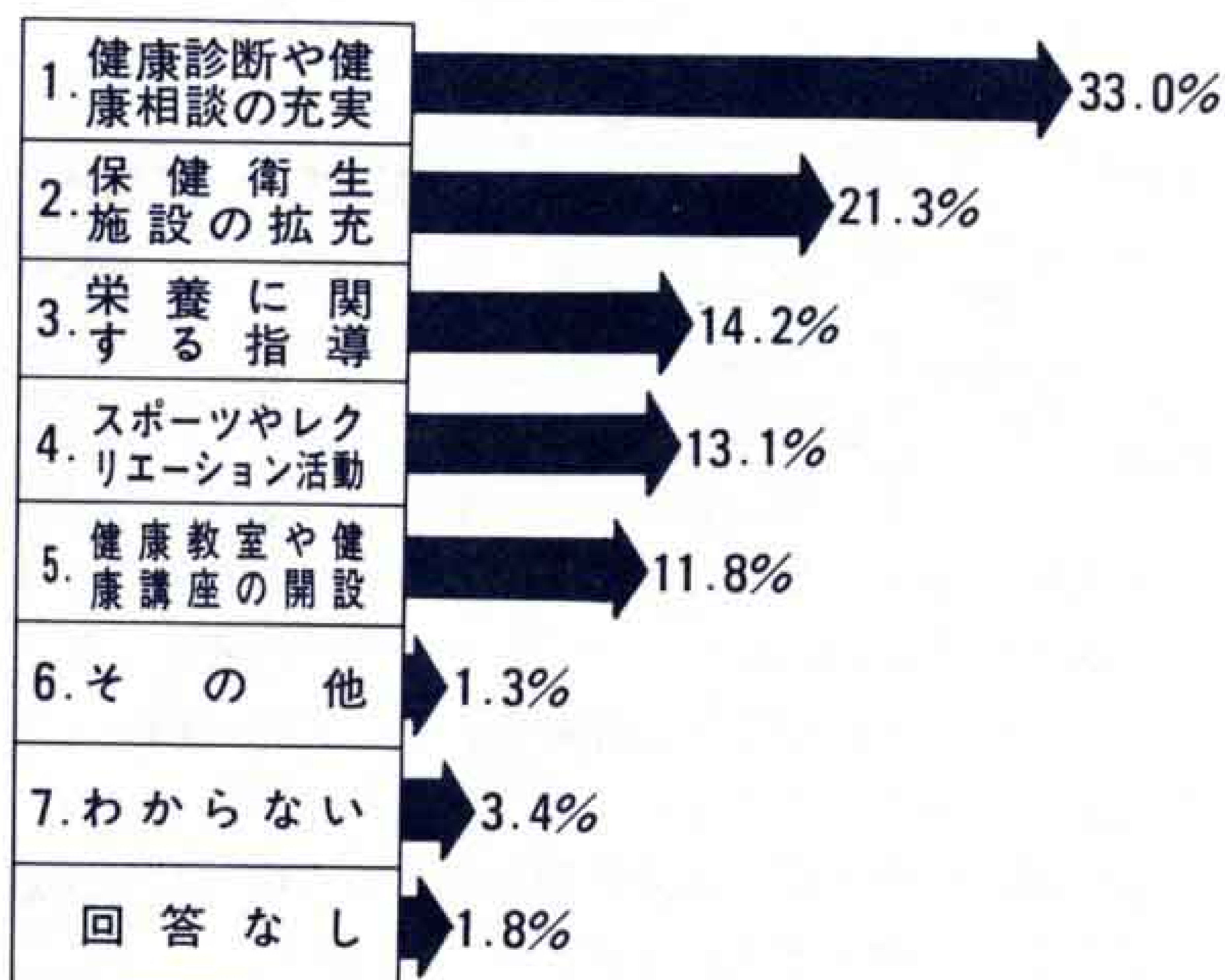
「わからない・回答なし」の年代別内訳



市にどのような対策を望みますか

3人に1人が「健康診断や健康相談の充実」を望んでおり、意見欄にも「病院へ行くほどではないが、健康のことについて気軽に相談するところがほしい。」という要望が割と多くあります。また、この項目はどの年代にも平均して多いのが特徴です。

年代による差があるのは「スポーツやレクリエーション活動」です。やはり20代（18.2%）、30代（18.6%）が多く50代（5.7%）、60歳以上（7.1%）は少なく、地域で多いのは富士見台（21.8%）、駅南（20.0%）です。



アンケートに寄せられた意見

吉原50代 私の住んでいるところは商店街のためか地域の行事に協力する家庭が少なくて困ります。互いに助けあっていくことが大切だと思います。

今泉50代 高齢になると病気がちになり、どの病院や診療料がよいのか悩むことがあるので、そうした相談場所がほしいです。

伝法20代 幼児をつれても参加できる講座や教室を開いてほしい。

元吉原60歳 市立病院の長い待時間の改善をぜひ。

駅北30代 スポーツやレクリエーション活動の場をもっとつくってください。

田子浦40代 医者にかかる前に相談できるところがほしいです。予防医学にもっと力を入れてください。

鷹岡50代 働きにでているので昼間の催しには参加できません。夜間の勉強会を実施してほしいです。

丘60歳以上 富士市には総合病院が少ないと思います。増えることを願っています。

岩松30代 子宮ガン検診は病院でやってほしい。

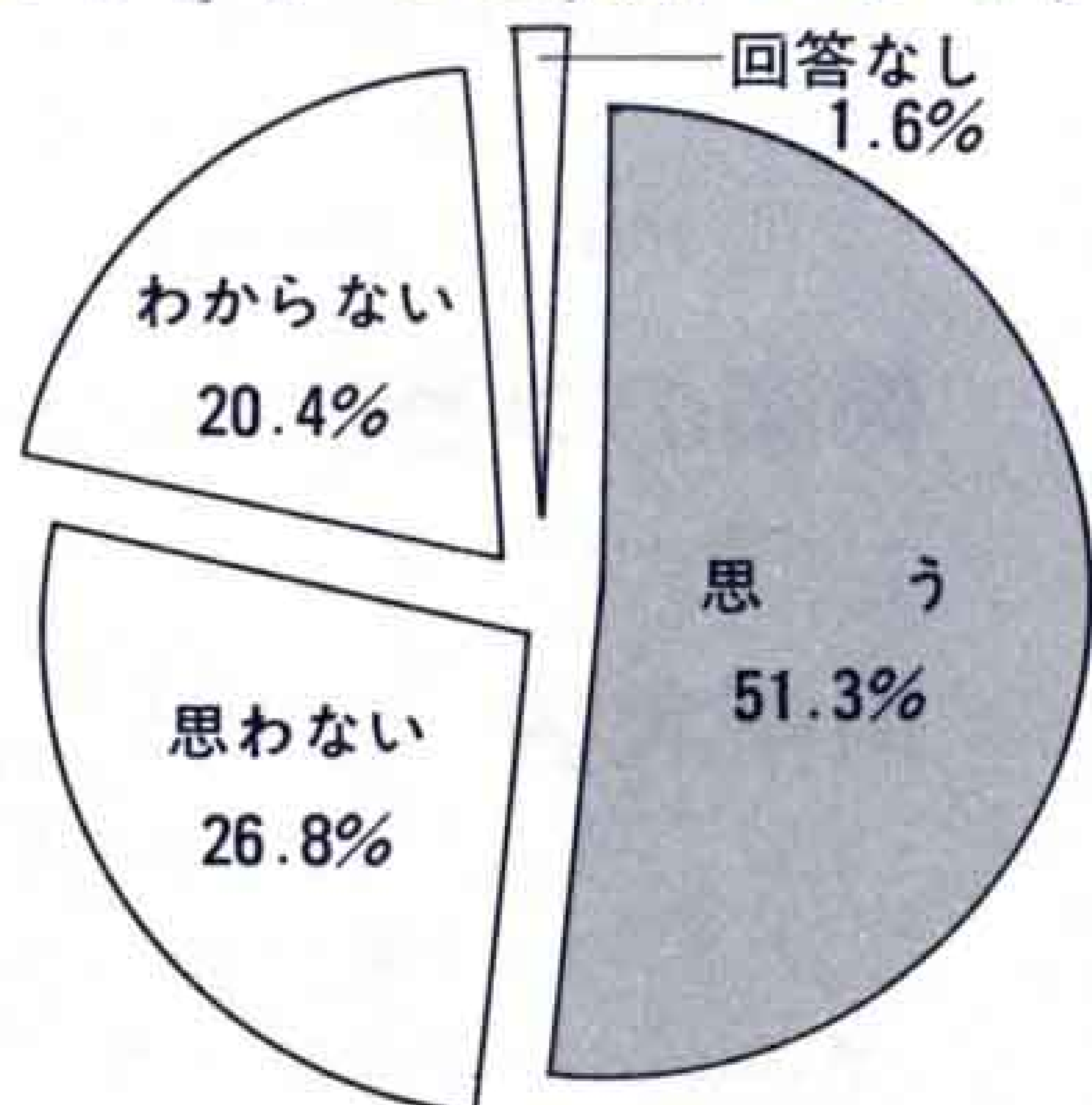
健康に関する学習会に参加したいと思いますか



「思う」と答えた人は50代(75.6%)、40代(70.3%)に多く、実際の行動につながるかどうか問題があるにしても、今後こうした年代への働きかけが必要であろうと思われます。意見欄にも公民館講座に組み入れてほしいという声があります。

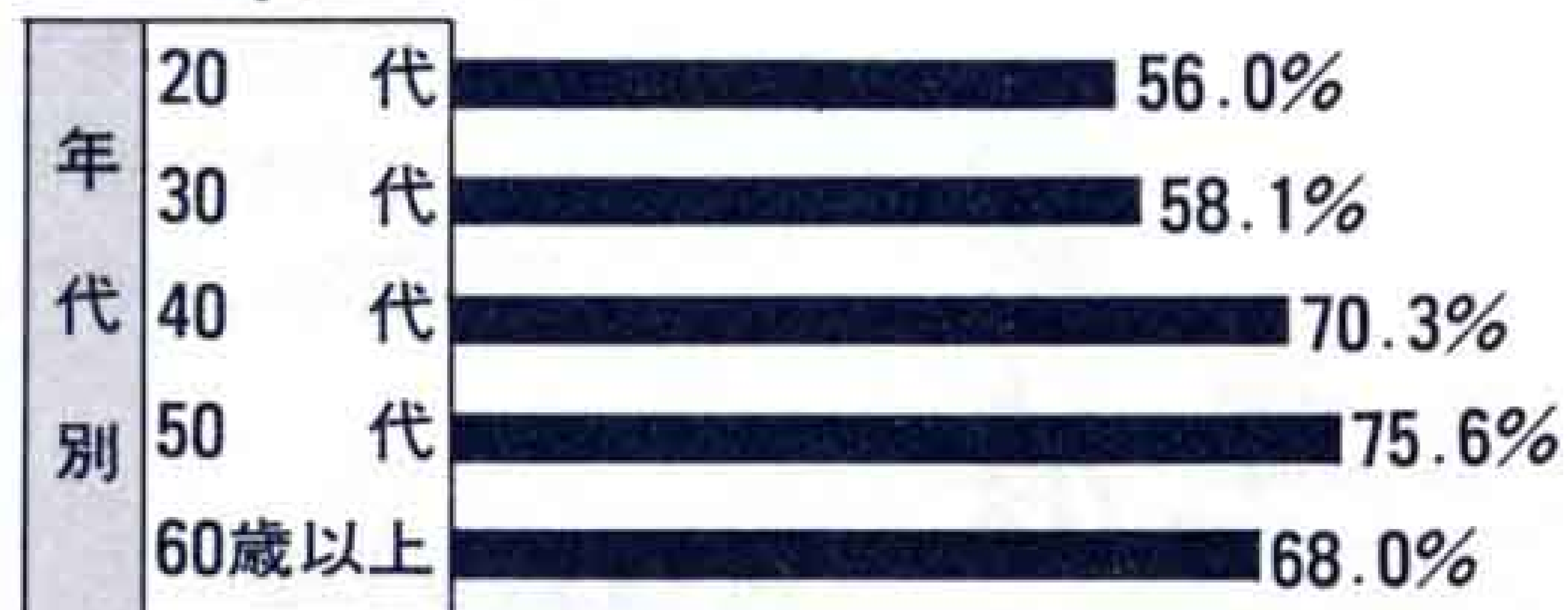
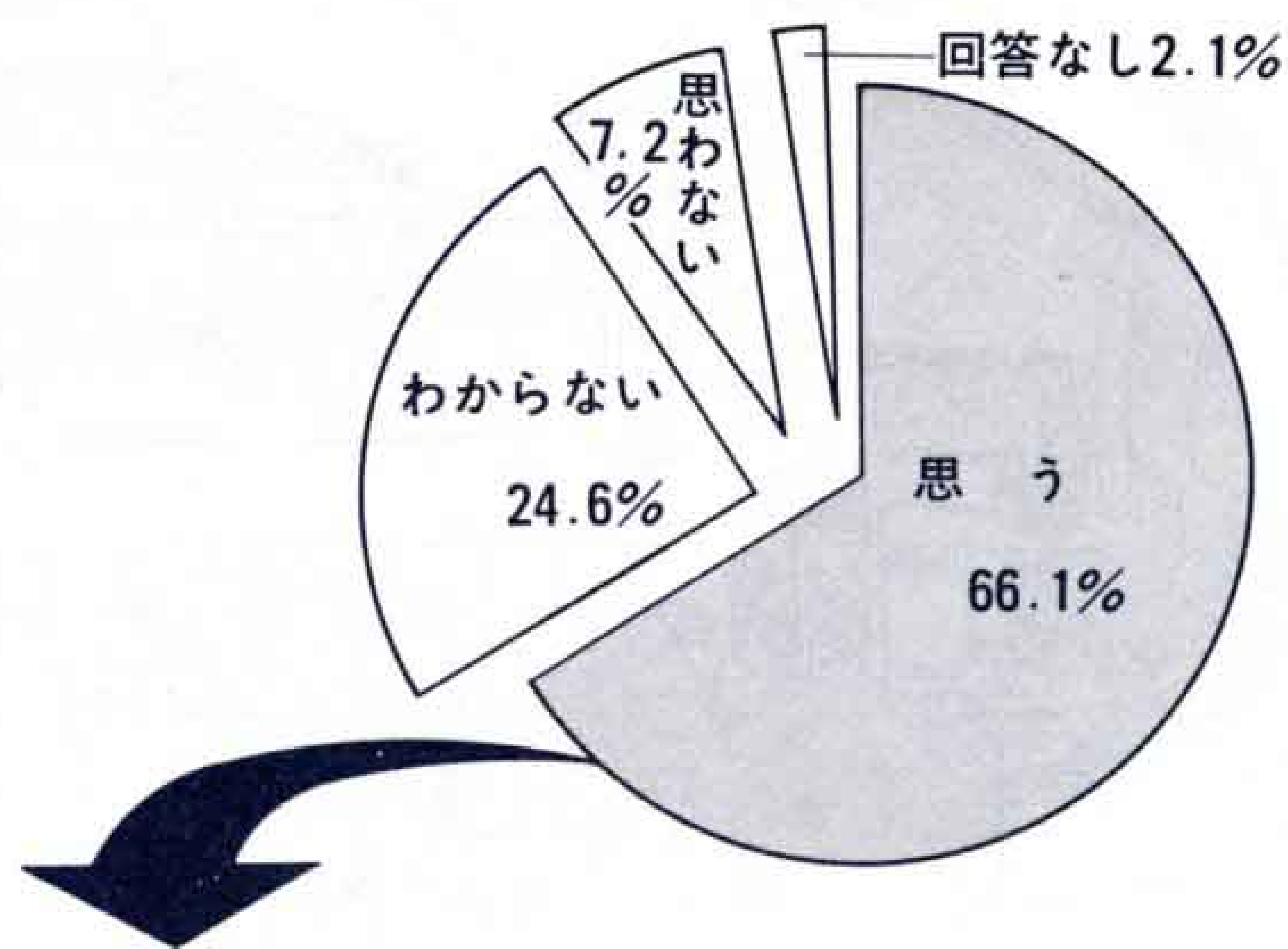
地域による違いも見られ、多いところは須津・浮島(86.5%)、原田(72.1%)、大淵(70.8%)などで、少ないところは富士見台(59.6%)、田子浦(59.7%)など。

近所の協力や連帯がうまくいっていると思いますか



この項目に対する評価は主観的であり、地域全体というよりほんの隣近所を基準にしてのことだろうと思われるにしても、地域による違いが見られます。「思う」と答えた人が多かったのは須津・浮島(65.4%)、駅南(62.5%)、富士南(62.2%)などです。

また年代による違いも見られ、60歳以上(68.0%)が最も多く、20代(39.4%)が最も少ないのが特徴です。

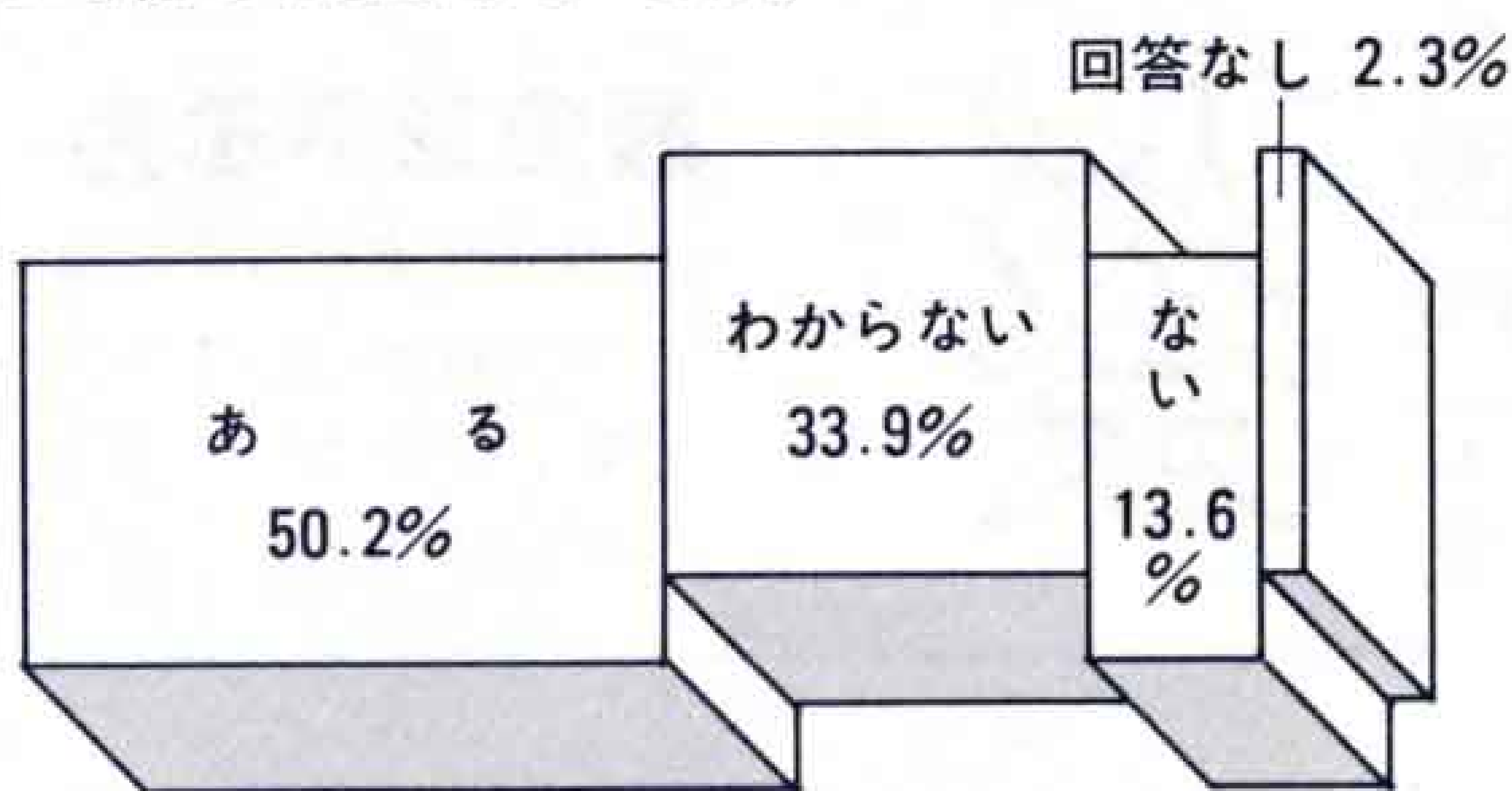


隣人の健康を守るための活動に参加する意志がありますか

福祉ボランティア活動については近年参加する市民も増え理解も広まっていますが、市民が余暇を利用して隣人の健康を守るための活動「保健ボランティア活動」についてはまだ具体的なものとして行われていません。

しかし、地域での世話役や相談役としての市民の保健活動をこれから進めていくことを考えていく必要があります。

全体では半数が参加の意志があると答えています。年代による違いがあり20代は39.4%と少く、子育てが終った頃から次第に多くなり、周囲に目を向けはじめるようになることを示しています。



新総合計画に盛り込まれた保健行政



富士市は生産と生活が調和する産業文化都市を大きな目標にまちづくりをすすめています。これは去る昭和54年に決めた「新総合計画」に盛り込まれていますが、この

計画は昭和60年に向けて具体的な計画を示しています。

この中での第1の柱「いのちと健康を守る」はさらに保健・医療・救急・公害防止・交通事故防止・火災防止・災害防止の7項目に分けられています。

保 健



市民の健康を増進するため、健康診断、検診、予防接種の徹底をはかり、病気の早期発見、早期治療をすすめます。スモン、ベーチェット病等の特定疾病患者や大気汚染による健康被害者の医療救済に努めます。

また、市民の生活環境を衛生的に保持するため、衛生害虫の駆除や畜犬対策、食品衛生に対する監視・指導を強化していきます。

市立歴史民俗資料館あんない



春の日差しをあびながら、家族でふるさとの歴史と文化を学ぼう
——と市教育委員会は、「春の市民文化祭」を開きます。会場は、広見公園内にある歴史民俗資料館です。問合せ先 市文化振興課

春の市民文化祭

家族で楽しもう

会場は広見公園内です

写真撮影会 5/2(日)

- ・ 9:30～15:00 (小雨決行)
- ・ 集合場所 広見公園入口
- ・ モデル 速水レオ、藤原真美
- ・ 作品展 6月14日～19日、市役所
2階市民ギャラリー

茶会 5/2(日) 10:00～14:00

- ・ 薄茶席、煎茶席

短歌会 5/3(月) 10:00～16:00

- ・ 作品は1人1首、4月20日までに文化振興課宛に返信用封筒(切手貼付)を添えて申込んでください。

歴史を学ぶ会 5/3(月)

- ・ 市立歴史民俗資料館などの案内を学芸員が行います。
- ・ 第1回 9:30 第2回 10:30
第3回 13:00 第4回 14:00

親と子の写生会 5/5(水)

- ・ 9:30～13:00(雨天の場合は9日)
- ・ 集合場所 広見公園入口
- ・ お弁当、水筒、写生用具は各自持参。画用紙は主催者側で用意。
- ・ 作品展 6月14日～19日 市役所
2階の市民ギャラリー。

邦楽のつとめ 5/5(水)

- ・ 10:00～14:00

川柳大会 5/9(日) 10:00～14:00

- ・ 宿題 「五月人月」「善意」「誘う」「友達」「味」各題3句詠
- 作品は、4月20日までに〒416中丸276-5 酒井八美方へ申込んでください。

俳句大会 5/16(日) 12:00～16:00

- ・ 講師 上田五千石



父親の反省

市政や日常生活のことなどについて、あなたの意見や質問をお寄せください。紙上の匿名はさしつかえありませんが、原稿には住所氏名、年齢を必ずお書きください。
▷送り先 市広報広聴課

子どもが小学校へ行く年齢になり、期待と不安が交錯している父親です。
いままでは、子育てすべてを母親にまかせていましたが、これを機会に父親として何かしなければ……とはいっても、決して勉強くんと、しりをたたくのではありません。

伸びくさせたいと思っていました。そんな時、新聞に載っていたことですが、反省させられたことをつづってみました。

父親は、外で仕事を精一杯して、疲れて家に帰ってきます。

母親もお父さんは疲れているからそつとしておいてやろうね、と子どもに言う。結果的に父親は、子どもから遠ざかり、対話がなくなる。ひいては親子の断絶につながり、非行の要因にもなっているという。

子どもは父親とも話したがっています。話しかけた時、「うるさい」などと言ったらどうでしょう。

私を含めたお父さん方、疲れて帰ったときにもうひとふんばり、笑顔で子どもと遊び、話をしようではありませんか。

(一父親)

新学期を迎えて

新入学(園)児の交通事故を防ごう

新学期は、子どもの交通事故が心配される時期でもあります。

特に、新入学(園)児をもつ家庭では、子どもの特性を十分に理解し、日常生活の中から交通ルールを覚えさせることが大切です。

具体例をあげて

昨年1年間に市内では、219件の子どもの交通事故が発生しました。

事故原因としては、そのうちの約41%が、とび出しと車の直前直後の横断です。

事故原因からもわかるように、子どもは、1つのことに夢中になると周りのものには目が入らなくなる、物事を単純にしか理解できず、考え方も自己中心的になるという特性をもっています。また、子どもは、「危ないよ」「気をつけてネ」というような具体性のない言葉をかけられただけでは、十分に理解できません。どうして危ないのか、何に気をつければよいのかを具体的に教えてあげることが必要です。

登下校時に多い事故

事故を時間的にみると、登下校時が一番多く発生しています。

登下校時の事故を防ぐには、親が子どもといっしょに通学路を歩き、危険な場所を教えておくことも必要です。通学路で多い事故の原因としては、「忘れ物を思い出した」「遅刻しそうになった」「叱られて家を出た」などがあげられています。このようなことのないように、寝る前には翌日の準備を済ませ、登校時には余裕をもたせるように習慣づけましょう。

春の交通安全運動を実施します

今年も、春の交通安全運動が4月6日から15日までの10日間、全国一斉に実施されます。

今回の運動は、・歩行者、特に子どもの交通事故防止

・二輪車・自転車の安全利用の促進
・安全運転管理の充実と安全運転の確保、の3つに重点が置かれます。



こんなに違う目の高さ

おとなと子どもでは視点の高さが違うため、おとなには先を見とおせても、子どもには見えません。

あの街



わが街



かねこやすこ
金子康子さん(34歳)
(駿河台3丁目)

プロフィール

秋田県平鹿郡雄物川町出身。お茶がおいしい所ではないかなあーと
思い姉をたよって来富。
会社員のご主人と結婚。小4と幼稚園児の2人を持つママさん。

金子 秋田県の県南で、上野から特急で七時間かかります。屋敷の広い農家が多くわりとのどかな田舎町です。

雪は、それ程降りませんが、それでも二月頃は大量積ります。

富士市の印象はどうですか。

金子 富士山がきれいですね。朝おきて富士山を眺めるのが楽しみの一つ。特に冬の富士はステキです。

それに気候が温暖で、昔から住んでいる地元のみなさんがとても親切でよく笑顔で言葉をかけてくれます。

でも、最近少しはよくなりましたが、悪臭はどうも……。

何か気掛りなことはありませんか。

金子 教育問題ですね。今は子どもの体力づくりのためにも四十分くらいかけて通学するのもよいと思いますが、高校に進学するとき市内に公立が少ないのが心配です。

行政に望むことは。

金子 丸火自然公園や岩本山公園もあります。子どもをうば車に乗せて近所の人が簡単に集まれる広場を兼ねた児童遊園地とか、街の中心に広い公園も欲しい。それに道路が狭いですね。道路の整備もお願いします。



市民文芸第18号発行



市教育委員会は、市民文芸第18号を発行しました。購入希望の人は、市文化振興課へ、1冊300円です。

なお、創刊号から第17号（第8号は除く）までの市民文芸もあります。

中国語講座を開設

吉原公民館は、成人者を対象に、中国語講座の学級生を募集します。

◇と き 5月2日(日)～10月31日(日)
(毎週日曜日19:00～21:00)

◇ところ 吉原公民館

◇内 容 中国語の会話(北京放送)を中心とした初歩・中級コース

◇講 師 日中友好協会富士支部長 野村治郎

◇受講料 テキスト等自己負担

◇募集期間 4月15日(木)～30日(金)

◇申込み方法 申込み金 1,500円を添えて吉原公民館へ（電話の申込みは受付ません）

◇問合せ先 吉原公民館へ ☎53-1580

第3回 企画展

「富士市の沿岸漁業」

市立博物館は、富士市の漁業に関する企画展を開きます。

みなさんのご来館をお待ちします。

◇と き 4月23日(金)～5月30日(日)

◇ところ 市立博物館 ☎21-3380

手話講習会の受講者募集

◇と き 5月6日(木)～7月29日(木)
(毎週木曜日18:30～20:30)

◇ところ 吉原市民会館第1会議室

◇対象者 市内に住んでいる人ならどなたでも

◇定 員 60人(定員になり次第締切)

◇受講料 無料

◇申込み先 市福祉課へ内線234

万野原(富士宮市)団地の宅地を分譲

◇所在地番 富士宮市万野原新田字 5本松4,020番8外

◇募集区画 14区画

◇面積 218.05平方メートル(65.96坪)～269.82平方メートル(81.62坪)

◇予定価額 951万円～1,201万円

◇受付期間 5月6日(木)～13日(木)

◇申込み・問合せ先 静岡県住宅供給公社建設部用地課 ☎0542>55-4146又は、富士宮市役所建築住宅課へ ☎0544>27-3111

電話の名称を募集

青少年補導センターは、7月中旬から電話による相談業務を開設します。この電話の親しみやすい名称を4月30日(金)まで募集します。

◇申込み方法・問合せ先 はがきに電話の名称、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入し〒417 永田61の1市教育委員会青少年補導センターへ

身体に障害などのある人の軽自動車税の減免

身体障害者、精神薄弱者又は精神薄弱児の人が所有しており、しかも身体障害者の人が、自分で運転する場合や、その人と生計をともにする人が、その人のために運転する軽自動車など、その他諸要件に適合しているときには、申請することによって一台に限り減免されます。

◇問合せ先 市民税課へ 内線279

市職員の人事異動

()内は旧任

市の定期人事異動が4月1日付で発令され、部課長ほか一般職員のべ291人の異動がありました。部長職の異動は次のとおりです。

◆都市整備部長 市川兼久(下水道課長) ◆参事 横山光雄(秘書室長) ◆同 藤沢日出治(設備課長)



第21回 緑と花の百科展

◇と き 4月11日(日) 8:00～16:00 (雨天決行)

◇ところ 市役所北側駐車場

[植木市] 庭木、花木、草花、盆栽、観葉植物等5万点以上を出陳し、緑を育てるのに必要な園芸用品(鉢・肥料・農薬)も即売します。価格は1,000円前後が主ですが、相当大きな木も用意してあります。

[緑と花の相談所] 植え方、育て方、花壇の造り方、病害虫防除の仕方等緑と花のあらゆる相談を受けます。



市役所 ☎51-0123

国民年金保険料月額5,220円に

4月から、国民年金の保険料が月額 5,220円に改定されました。

国民年金に加入しているみなさんが、年をとったときには老齢年金、障害者となったときには障害年金、また母子家庭となったときには母子年金などの年金が受けられることになっていますが、それには保険料を納めてあることが必要です。これらの年金の財源は加入者が納めた保険料と国庫負担金（国が給付費の3分の1を負担）でまかなわれています。

保険料の改定は年金財政を健全に維持し、制度をより充実発展させるために行われるものです。みなさんの深いご理解とご協力をお願いします。

なお、保険料を納めることが困難な人は、保険料が免除される制度もあります。ただし、強制加入者だけです。

◇問合せ先 市保険年金課へ 内線261～264

なぎなた教室を開催

58年の国体の正式種目となる、なぎなた教室を開きます。募集人員は各クラス20人。受講料は無料です。

◇申込み先 〒417 市内伝法5-50 富士市なぎなた連盟 大橋方へ ☎35-1737

◇問合せ先 市スポーツ振興課へ 内線457

期 日	曜 日	場 所	対 象
4月13日から 7月20日まで	毎週火曜日 9:30～11:00	吉原柔剣道場	一 般 女 子
4月14日から 7月21日まで	毎週水曜日 14:00～16:00	"	小学生女子
4月17日から 7月24日まで	第1、第3、土曜日 14:00～16:00	"	小、中、高、 一 般 女 子

麻しん（はしか）の 予防接種料金が改定

4月1日から、麻しん（はしか）予防接種料金が5,000円に改定されました。

すでに、接種通知が届いている人で、接種した場合は、5,000円を医療機関に支払ってください。

医療機関に支払った料金5,000円は、今までどおり全額市で補助します。この場合、補助金申請書金額4,500円を5,000円に訂正して、訂正箇所には保護者の印鑑を押してください。

なお、1歳6ヵ月児～2歳6ヵ月児で、麻しん受診券のない人（転入者等）は市健康課へご連絡ください。

◇問合せ先

なるべく午前中に、市健康課へ 内線321・322

いっせい防疫

月 日	午 前	午 後
4月13日(火)	宮の上 伝法町三	長者町 千代田町
15日(木)	伝法町一	伝法町二
16日(金)	吉原上中町	三日市 中村町
19日(月)	上田端 田端町	傘木
20日(火)	厚原東1 厚原東2 厚原東3	中桁 片宿
22日(木)	高島 新青島町 平垣北町	塔の木 川原宿 本市場4
23日(金)	本市場3 五味島	本市場1 本市場2 本州社宅 浅間町
26日(月)	国久 藤間	本市場新田 中島新道町
27日(火)	松本	蓼原町1 蓼原町2 蓼原町3 十兵衛北

4月の当直医

休日及び平日夜間の当直医は、富士市医師会が、急病患者のために定めたものです。急病のときにだけご利用ください。

◇4月11日

外科 佐野医院 71-6200 天 間

" 芦川病院 52-2480 中央2

産婦人科 窪田医院 61-3100

平 垣

◇4月18日

外科 中央病院 61-8800 本市場

" 吉田医院 51-2515 石 坂

産婦人科 山下医院 52-0611

国久保

◇4月25日

外科 宮下医院 61-0376 平 垣

" 渡辺病院 51-3751 錦町1

産婦人科 中央病院 61-8800

本市場

◇4月29日

外科 神谷医院 61-5900 川成島

外科 米山病院 52-3060 吉原4

産婦人科 武田医院 63-5122

宮 島

※内科・小児科は医療センターで、
歯科は歯科医師会館で行います。

◇平日の夜間

内科・小児科・外科は市役所北口
警備員室☎51-0123又は消防署☎51-0105へおたずねください。

ふるさとのお話

竜になった 吉野長者の娘



福泉寺の山門

竜は想像上の動物として千年以上も昔にあらわれました。いろいろな魔力を使います。しかし、恐ろしい妖獣^{ようじゅう}というよりは、水の神としてうやまつたといわれています。今回は竜になった娘の話の紹介を。

むかし、天間の福泉寺の近くに吉野^{ちようじや}長者という大金持が住んでいました。なんの不自由のないくらしでしたが、子宝^{こたから}に恵まれませんでした。そこで夫婦は氏神^{うじがみ}に一心に祈りました。その真心が通じたのか、女の子が生まれ夫婦はたいへん喜んで「たまき」という名をつけて、かわいがって育てました。

17、8の娘ざかりに成長すると、村でも評判の美しい娘になりました。

娘は長者ヶ池の主

ある日、娘は死ぬまでに一度でよいから、白糸の滝の近くにある池をみたいと両親にお願いしました。両親はかわいい娘の願いに、さっそくカゴに乗せて、大勢^{とも}の供をつけて長

者ヶ池（田貫湖）へやりました。

池につくと、娘はしばらく池をジッとみつめていました。すると、にわか^{あんうん}に暗雲がたれこめ、稲妻^{いなづま}が走り雷がおこると娘はみるみるうちに竜となり池の中へとびこんでしまいました。人々があつけにとられていると、間もなく池の中央にあらわれ「私は吉野の娘として生まれましたが実は、この長者ヶ池^{ぬし}の主^{わけ}です。訳あってどうしても池に帰らなければならなくなったのです。どうか、私を大事に育ててくれた両親にくれぐれもよろしくお伝えください」というと、そのまま池の中へ消えてしまいました。

人々は急いで家に帰り長者にそのことを話しました。悲しんだ長者が娘の寝床^{こんじき}へいってみると金色の鱗^{うろこ}が三、四枚おちていたそうです。

故紙は、次のように生まれかわります。

- 1.ダンボールは、もう一度ダンボールに
- 2.新聞、雑誌は、主にボール紙に
- 3.雑誌は、漫画本や雑誌の用紙に
- 4.新聞の折込広告は、トイレットペーパーに

読み終った新聞、雑誌、週刊誌、折込広告、不用になったダンボール等は、ごみとして捨てないで、資源として再生させるためには、地域で相談して集団回収をすすめることです。

——進めよう ごみの減量・資源化——



市立博物館 展示物 紹介 ★ 古代人のいのり

富士山信仰と浅間神社^{せんげんじんじや}



今宮浅間神社

市内の今宮浅間神社は、丸火溶岩^{まるびようがん}の最南端にあります。

これは、富士山が噴火をくり返して人々をおそれさせていたので、山に宿る神の心を鎮めようとした信仰のあらわれです。やがて水の徳を持った神をまつり、噴火のわざわいを防ごうとする信仰がうまれ、コノハナサクヤヒメ^{さいじん}を祭神とするようになりました。

浅間神社^{せんすいち}が湧水池の近くに多いのはこのためです。富知六所浅間神社などはそれです。

なお、山岳信仰の伝説上の人物である「役の小角^{えん おづぬ けいふ か}」の系譜下にある多くの修験者^{しゆげんじや}（山伏^{やまふし}）は、富士山信仰でたいへん活躍しました。



富知六所浅間神社